

「木づかい体験会」への参加について

幼児教育学科 准教授 香月 拓

今年度、香月ゼミ・木下ゼミでは、福井県農林水産部県産材活用課と連携し、ふくいの木を活用した「木づかい体験会」を実施しました。その概要は以下の通りです。

◆概要

将来的なふくいの木の利用者であり、これからの福井県を担っていく未就学児を対象に、本学の学生がこども園等を訪問し、ふくいの木で作られた遊具や玩具を通じて触れ合いの中で、ふくいの木の良いところを伝える取り組み。

◆こども園での木づかい運動の実施内容

- ふくいの木を使用した鳴子作り（木下ゼミ）
全2回（永平寺松岡幼稚園、みくに未来幼保園）
- ふくいの木を使用したコマ作り（香月ゼミ）
全2回（仁愛短大附属幼稚園、安田幼保園）

今年度で3年目の活動になります。実施した園では、毎回熱心にやすりをかけたり、色を塗ったり、夢中で遊びこむ子どもたちの姿がありました。また、やすりをかける前と後の手触りやにおいの違いを感じるなど、五感を通して自然を感じる様子が印象的でした。

最後に「木づかい体験会」に参加した学生の感想を掲載します。

- 活動の前後の声掛けや導入の内容は、子どもたちの取り組み方や興味に大きく影響することがわかった。
- 子どもたちと一緒に活動することで、触った感覚や匂いなどを通して自然を肌で感じてもらうことができたし、自分自身も感じる事ができた。
- 友だちと関わり合いながらどうすれば良いのかを考えながら活動していたことから、コミュニケーションを促進する効果もあるとわかった。

